

省の
交通
総合
評価
国総

専門工事審査型を検討

国土交通省は、工事の品質確保の観点から「現場力」に着目し、その重要な役割を担う専門工事業者の技術力などを審査する新たな総合評価方式の検討に着手した。通常の技術提案に加え、主要な専門工事の施工内容、施工する専門工事業者名、その専門工事業者が元請けに提出した見積もりなどを技術提案として求める。ダンピング（過度な安値受注）によるしわ寄せや労働条件の悪化、安全対策の不徹底などを防ぐのが狙い。早ければ2007年度下期にも試行する。

品質で現場力着目

元請提出見積もり求める

下期にも試行

この「専門工事審査型総合評価方式」（仮称）は、専門工事業者の技術力が工事全体の品質確保に重要な部分を占める工事を対象に試行する方針。

国土交通省は「専門工事部」の見積もりをあらかじめ提出してもらった上で、工事全体の価格競争ではなく、専門工事を除く部分の価格競争に誘導したい」（官房技術調査課）としている。また、専門工事業者に対する支払いについても、支払い内容に証明する文書のコピーを提出してもらい、意図的に専門工事業者の保

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

有機械の状況▽専門工事業者名と専門工事業者が提出した見積もり▽専門工事業者の実績――の提出を求める。施工上の留意点については、専門工事業者の提案も認め、専門工事部分の技術開発、コスト削減努力を促していく。

提案内容については、ヒアリングを実施し、極端な見積もり、実績のない工法の提案は減点する。提案した専門工事部分の専門工事業者は固定線路上には、アットリスク

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして

型CM（コンストラクション・マネジメント）方式があり、専門工事審査型で得た専門工事業者の工事業者が元請けとして